

# 神経難病新聞

## No.13

### 難病医療費助成制度の対象となる疾病(指定難病)

難病医療等嘱託医 足立 克仁

ここに指定難病<sup>1)</sup>の333疾病<sup>2)</sup>を掲載し、この上にこれまで掲載してきた「難病嘱託医が経験した指定難病」42疾患(スモン除く)を赤で示した。この42疾患とスモンで疾患のクローズアップは終了です。これらは指定難病全体の13%に過ぎないが、日頃、難病嘱託医として、脳神経内科医として、重きを置いている疾患です。

★指定難病とは：難病のうち次の要件を全て満たすもので、医療費助成の対象となる。○患者数が本邦において一定の人数(人口の0.1%程度以下)に達しない ○客観的な診断基準(又はそれに準ずるもの)が確立している

#### 2019年7月から対象となった疾病

(2疾病/告示番号332, 333)

	告示番号
膠様滴状角膜ジストロフィー	332
ハッチンソン・ギルフォード症候群	333

#### 333疾病(あいうえお順)

	告示番号
あ アイカド症候群	135
アイザックス症候群	119
I g A 腎症	66
I g G 4 関連疾患	300
亜急性硬化性全脳炎	24
悪性関節リウマチ	46
アジソン病	83
アッシャー症候群	303
アトピー性脊髄炎	116
アペール症候群	182
アラジール症候群	297
α1-アンチトリプシン欠乏症	231
アルポート症候群	218
アレキサンダー病	131
アンジェルマン症候群	201
アントレー・ピクスラー症候群	184
い イソ吉草酸血症	247
一次性的ネフローゼ症候群	222
一次性的膜性増殖性糸球体腎炎	223
1 p 36欠失症候群	197
遺伝性自己炎症疾患	325
遺伝性ジストニア	120
遺伝性周期性四肢麻痺	115
遺伝性膀胱炎	298
遺伝性鉄芽球性貧血	286
う ウィーバー症候群	175
ウィリアムズ症候群	179
ウィルソン病	171
ウエスト症候群	145
ウェルナー症候群	191
ウォルフラム症候群	233
ウルリッヒ病	29
え H T L V - 1 関連脊髄症	26
A T R - X 症候群	180
エーラス・ダンロス症候群	168
エプスタイン症候群	287
エプスタイン病	217
エマヌエル症候群	204
遠位型ミオパチー	30
お 黄色靭帯骨化症	68
黄斑ジストロフィー	301
大田原症候群	146
オクシピタル・ホーン症候群	170
オスラー病	227

	告示番号
か カーニ複合	232
海馬硬化を伴う内側頭葉てんかん	141
潰瘍性大腸炎	97
下垂性 A D H 分泌異常症	72
下垂性ゴナドトロピン分泌亢進症	76
下垂性成長ホルモン分泌亢進症	77
下垂性 T S H 分泌亢進症	73
下垂性 P R L 分泌亢進症	74
下垂性前葉機能低下症	78
家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	79
家族性地中海熱	266
家族性良性慢性天疱瘡	161
カナバン病	307
化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	269
歌舞伎症候群	187
ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	258
カルニチン回路異常症	316
肝型糖原病	257
間質性膀胱炎(ハンナ型)	226
環状20番染色体症候群	150
完全大血管転位症	209
眼皮膚白皮症	164
き 偽性副甲状腺機能低下症	236
ギャロウェイ・モフト症候群	219
球脊髄性筋萎縮症	1
急速進行性糸球体腎炎	220
強直性脊椎炎	271
巨細胞性動脈炎	41
巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	279
巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	280
巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	100
巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	278
筋萎縮性側索硬化症	2
筋型糖原病	256
筋ジストロフィー	113
く クッシング病	75
クリオピリン関連周期熱症候群	106
クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	281
クルーゾン症候群	181
グルコーストランスポーター1欠損症	248
グルタル酸血症1型	249
グルタル酸血症2型	250
クロウ・深瀬症候群	16
クローン病	96
クローンカイト・カナダ症候群	289
け 痙攣重積型(二相性)急性脳症	129
結節性硬化症	158
結節性多発動脈炎	42
血栓性血小板減少性紫斑病	64
限局性皮膚異形成	137
原発性高カイロミクロン血症	262
原発性硬化性胆管炎	94
原発性抗リン脂質抗体症候群	48
原発性側索硬化症	4
原発性胆汁性胆管炎	93
原発性免疫不全症候群	65
顕微鏡的多発血管炎	43

	告示番号
こ 高 I g D 症候群	267
好酸球性消化管疾患	98
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	45
好酸球性副鼻腔炎	306
抗糸球体基底膜腎炎	221
後縦靭帯骨化症	69
甲状腺ホルモン不応症	80
拘束型心筋症	59
高チロシン血症1型	241
高チロシン血症2型	242
高チロシン血症3型	243
後天性赤芽球病	283
広筋脊髄炎	70
膠様滴状角膜ジストロフィー	332
コケイン症候群	192
コステロ症候群	104
骨形成不全症	274
5 p 欠失症候群	199
コフィン・シリズ症候群	185
コフィン・ローリー症候群	176
混合性結合組織病	52
さ 鯉目腎症候群	190
再生不良性貧血	60
再発性多発軟骨炎	55
左心低形成症候群	211
サルコイドーシス	84
三尖弁閉鎖症	212
三頭筋欠損症	317
し C F C 症候群	103
シェーグレン症候群	53
色素性乾皮症	159
自己免疫空胞性ミオパチー	32
自己免疫性肝炎	95
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	288
自己免疫性溶血性貧血	61
シトステロール血症	260
シトリン欠損症	318
紫斑病性腎炎	224
脂肪萎縮症	265
若年性特異性関節炎	107
若年発症型両側性感音難聴	304
シャルコー・マリー・トウス病	10
車弁筋無力症	11
修正大血管転位症	208
ジュベール症候群関連疾患	177
シコフルツ・ヤンベル症候群	33
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	154
神経細胞移動異常症	138
神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	125
神経線維腫症	34
神経フェリチン症	121
神経有棘赤血球症	9
進行性核上性麻痺	5
進行性骨化性線維異形成症	272
進行性多発性白質脳症	25
進行性白質脳症	308
進行性ミオクロームスてんかん	309
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	214
心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	213

	告示番号	
す	スターシ・ウェーバー症候群	157
	スティーヴンス・ジョンソン症候群	38
	スミス・マジニス症候群	202
せ	脆弱X症候群	206
	脆弱X症候群関連疾患	205
	成人スチル病	54
	脊髄空洞症	117
	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	18
	脊髄髄膜瘤	118
	脊髄性筋萎縮症	3
	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	319
	前眼部形成異常	328
	全身性アミロイドーシス	28
	全身性エリテマトーデス	49
	全身性強皮症	51
	先天異常症候群	310
	先天性横隔膜ヘルニア	294
	先天性核上性球麻痺	132
	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	330
	先入性魚鱗癬	160
	先天性筋無力症候群	12
	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	320
	先天性三尖弁狭窄症	311
	先天性腎性尿崩症	225
	先天性赤血球形成異常性貧血	282
	先天性僧帽弁狭窄症	312
	先天性大脳白質形成不全症	139
	先天性肺静脈狭窄症	313
	先天性副腎低形成症	82
	先天性副腎皮質酵素欠損症	81
	先天性ミオパチー	111
	先天性無痛無汗症	130
	先天性薬物吸収不全	253
	前頭側頭葉変性症	127
そ	早期ミオクローニ-脳症	147
	総動脈幹遺残症	207
	総排泄腔遺残	293
	総排泄腔外反症	292
	ソトス症候群	194
た	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	200
	ダイヤモンド・ブラックファン腎血	284
	大脳皮質基底核変性症	7
	大理石骨病	326
	高安静脈炎	40
	多系統萎縮症	17
	タナトフォリック骨異形成症	275
	多発血管炎性肉芽腫症	44
	多発性硬化症/視神経髄膜炎	13
	多発性囊胞腎	67
	多脾症候群	188
	タンジール病	261
	単心室症	210
	弾性線維性仮性黄色腫	166
	胆道閉鎖症	296
ち	遅発性内リンパ水腫	305
	チャーシ症候群	105
	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	134
	中毒性表皮壊死症	39

	告示番号	
ち	腸管神経節細胞減少症	101
て	TNF受容体関連周期性症候群	108
	低ホスファターゼ症	172
	天疱瘡	35
と	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	123
	特発性拡張型心筋症	57
	特発性間質性肺炎	85
	特発性基底核石灰化症	27
	特発性血小板減少性紫斑病	63
	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	327
	特発性後天性全身性無汗症	163
	特発性大脳骨髄質壊死症	71
	特発性多中心性キャッスルマン病	331
	特発性門脈圧亢進症	92
	ドラベ症候群	140
な	中條・西村症候群	268
	那須・ハコラ病	174
	軟骨無形成症	276
	難治脳回部分発作重積型急性脳炎	153
に	22q11.2欠失症候群	203
	乳幼児肝巨大血管腫	295
	尿素サイクル異常症	251
ぬ	ヌーナン症候群	195
ね	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	315
の	脳腫黄色腫症	263
	脳表へモジリン沈着症	122
	膿瘍性乾癬(汎発型)	37
	囊胞性線維症	299
は	パーキンソン病	6
	パージャー病	47
	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	87
	肺動脈性肺高血圧症	86
	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	229
	肺胞低換気症候群	230
	ハッチンソン・ギルフォード症候群	333
	バッド・キアリ症候群	91
	ハンチントン病	8
ひ	PCDH19関連症候群	152
	非クローシス型高グリシミン血症	321
	肥厚性皮膚骨髄症	165
	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	114
	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	124
	肥大型心筋症	58
	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	239
	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	238
	左肺動脈右肺動脈起始症	314
	ピッカースタッフ脳幹脳炎	128
	非典型型溶血性尿毒症候群	109
	非特異性多発性小腸潰瘍症	290
	皮膚筋炎/多発性筋炎	50
	表皮水疱症	36
	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	291
ふ	VATER症候群	173
	ファイファー症候群	183
	ファロー四徴症	215
	ファンコニ貧血	285
	封入体筋炎	15
	フェニルケトン尿症	240
	複合カルボキシラーゼ欠損症	255

	告示番号	
ふ	副甲状腺機能低下症	235
	副腎白質ジストロフィー	20
	副腎皮質刺激ホルモン不応症	237
	ブラウ症候群	110
	ブラダー・ウィリ症候群	193
	プリオン病	23
	プロピオン酸血症	245
へ	閉塞性細気管支炎	228
	β-クトチオラーゼ欠損症	322
	ペーチェット病	56
	ペスレムミオパチー	31
	ペリー症候群	126
	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	234
	片側巨脳症	136
	片側座瘻・片麻痺・てんかん症候群	149
ほ	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	323
	発作性夜間ヘモグロビン尿症	62
	ポルフィリン症	254
ま	マリネスコ・シェーグレン症候群	112
	マルファン症候群	167
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14
	慢性血栓性肺高血圧症	88
	慢性再発性多発性骨髄炎	270
	慢性特発性偽性腸閉塞症	99
み	ミオクローニ-欠伸てんかん	142
	ミオクローニ-脱力発作を伴うてんかん	143
	ミトコンドリア病	21
む	無虹彩症	329
	無脾症候群	189
	無βリボタンパク血症	264
め	メーブルシロップ尿症	244
	メチルグルタコン酸尿症	324
	メチルマロン酸血症	246
	メビウス症候群	133
	メンケス病	169
も	網膜色素変性症	90
	もやもや病	22
	モワット・ウィルソン症候群	178
や	ヤング・シンブソン症候群	196
ゆ	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	148
よ	4p欠失症候群	198
ら	ライソゾーム病	19
	ラスマッセン脳炎	151
	ランドウ・クレフナー症候群	155
り	リジン尿性蛋白不耐症	252
	両大血管右室起始症	216
	リンパ管腫症/ゴーム病	277
	リンパ管筋腫症	89
る	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	162
	ルビンスユタイン・テイビ症候群	102
れ	レーベル遺伝性視神経症	302
	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	259
	レット症候群	156
	レンノックス・ガスター症候群	144
ろ	ロスモンド・トムソン症候群	186
	肋骨異常を伴う先天性側弯症	273

文献:1) 指定難病ペディア 2019. 日本医師会雑誌 148・特別号(1)

2) 厚生労働省健康局難病対策課・日本医師会：難病医療費助成制度の対象となる疾患一覧 1/3-3/3

\*注：上記一覧表は、R1. 7. 1 施行の 333 疾患を記載しています。R3. 11. 1 に 5 疾患、R6. 4. 1 に 3 疾患が追加(予定)され、次年度からは 341 疾患となります。

【編集後記】『難病嘱託医が経験した指定難病』

約1年前、「コロナ禍で難病研修会などが中止される中でも、難病に係る研究や治療の現状を知ることが出来ないか。」との声から始まった難病新聞。全12回の「難病嘱託医が経験した指定難病」が完結しました。発行中には「〇〇病についても取り上げてほしい。」「患者さんや家族にお渡したい。」といった反響もあり、難病を知るきっかけとして御利用いただけたとうれしく感じています。

次年度からは、多くの方が興味を持っておられる「難病と遺伝子」に関する記事や患者と共に難病に立ち向かっておられる医療専門職の方等にも執筆をお願いし、徳島の難病新聞ならではの情報を届けたいと思います。 <健康づくり課がん・疾病対策係長 T.T>

2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day, RDD)

指定難病を含む希少疾患は、患者数が少ないために、周囲や社会の理解が不足している現状があります。

この日を中心に世界中で希少・難治性疾患の理解増進のための社会啓発活動や患者や家族の交流などが行われています。

【RDD JAPAN のウェブサイト】

<https://rddjapan.info/2024/sponsors/>